

関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

ホームページ <https://kantoacco.omiki.com/>



第 37 回

3 号

2023.8.26 発行

編集 広報部

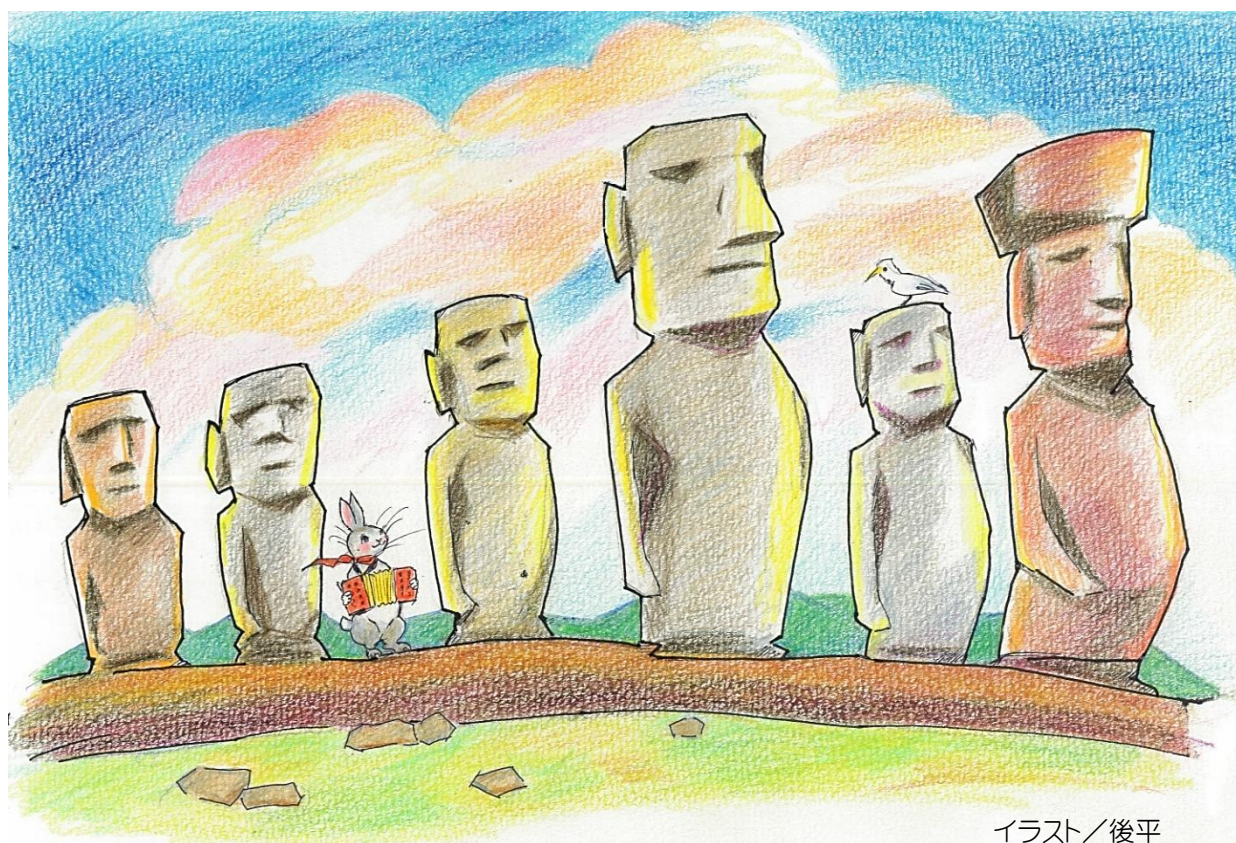
☆昨年 12 月からホームページの URL、また 5 月から QR コードが変わりました。

9/21

10:00 開始

第37 回 関東アコーディオン演奏交流会 《独奏部門》 目標を上回る 76 名が出場！

- ゲスト審査員 景山 昌太郎先生に決まる。
- カテゴリーごとの出場人数は 2 ページに記載
- 観客として聴きにきて下さる方大歓迎です！「メッセージカード」を使い、演奏者を励ますことが出来るのも楽しみの一つとなっています。



イラスト／後平

南の島の大王は その名も偉大な ハメハメハ…かな？

赤道より南のイースター島。南米チリ、サンティアゴから飛行機で 5 時間半ほどです。現地でもアコーディオンを弾いている方はきっといることでしょう。

目次

- 出場申込み者内訳／参加協力券普及のお願い…2P
- サポーター募集…3P
- JAPC アコーディオン夏祭り 2025…4～8P
- 神奈川合同で平和コンサートに参加…9P
- 「中山英雄を偲ぶコンサート」演奏参加者募集…10～11P
- ホワイトボード…12～14P

第37回関東アコーディオン演奏交流会 出場申込み締め切りました。(7月31日)

《申込み参加状況》

◇ジュニアの部：2名 ◇初心者の部A：4名 ◇初心者の部B：5名 ◇シニアの部A：0名
◇シニアの部B：19名 ◇一般中級の部：38名 ◇一般上級の部：8名 (合計76名)

今年は、実行委員会で立てた目標(70名)を越える参加状況となりました。

かつて、70名を超えた年もありましたが、それを上回る最多出場者数となりました。教室やサークルの指導者、並びに声を掛けてくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。

1都13県から参加されます。北は宮城県、南は長崎県と遠方から申込まれた方もおります。また、93歳と高齢の方も申込まれております。

本番まで丁度一ヶ月となりました。出場者の皆様は健康に気をつけて、本番の9月21日はベストコンディションで練習の成果を響かせてください。

皆様の演奏を楽しみにしております。

☆ゲスト審査員 「景山昌太郎」先生に決まりました。

アコーディオン仲間の演奏を聴きに行きましょう！

今年は76名の方(過去最多)が演奏されます。

出場を見送られた方も、日頃アコーディオンで演奏されている方々がいろいろなジャンルの曲を演奏されると思います。他の人の演奏を聴くことはご自分の練習にも大変参考になることでしょう。

当日は、「メッセージカード」をプログラムに入れさせていただきます。気に入った演奏、あるいは、良かった点、感想など書き込んで演奏者の元に届けるカードです。このように演奏者を励ますことにも参加出来ます。(受付にも用意するので足りない方はご利用ください)

9月21日(日)は午前10時スタートです。教室やサークルの仲間、また、お友達など誘い合ってぜひ応援にお越しください。(開場：9：30)

※聴きに来られる方は「参加協力券」1,000円が必要です。(当日受付で購入可)

☆参加協力券の普及にご協力下さい。

夏休み中でもあり、友達と連絡が取りにくい時期かと思いますが、本番まで約一ヶ月余りありますので同封の券をご活用いただき、多くの方が聴きにきて下さるよう周りの方には是非広めて下さい。

		♪ 学びあうためのコンクール ♪			
第37回 関東アコーディオン演奏交流会				No. 400	
2025年9月21日(日) 開演 10:00 (開場 9:30)				20250921 関東アコ	
【会場】北区滝野川会館大ホール(北区西ヶ原)				参加協力券	
JR 京浜東北線「上中里」駅東口より				1,000円	
JR 山手線「駒込」駅北口より徒歩				☐ 精算済み	
東京メトロ地下鉄南北線「西ヶ原」駅より徒歩7分				☐ 当日精算	
連絡先：塚本 044-877-9871				担当 _____	

見本



関東アコーディオン演奏交流会はじめてサポーター大募集！

■はじめてサポーターとは？

- ・ 関東アコーディオン演奏交流会の当日に1日運営をお手伝い頂ける方を募集します。
- ・ 仕事内容は、準備・片付け+担当業務（舞台補助、受付、呼び出し、ドア係など。本人の得意なことや希望を考慮の上、決定します）
- ・ 実行委員会に参加していただくこともあります（リモート会議です。任意参加）。
- ・ ボランティアとなりますが、当日交通費代わりにQUOカード2,000円分をお渡しします。

※もちろん、演奏者として参加しながらお手伝いをすることも可能です（演奏時間・練習時間を考慮します）。

■申込方法

- ・ WEB フォームよりお申し込みください。
- ・ 名前
- ・ アコ歴（経験がない方も大歓迎！）
- ・ 所属-電話番号
- ・ メールアドレス
- ・ 在住エリア（都道府県・市区町村）
- ・ 自己紹介（得意なこと、やりたいこと）と応募の動機
- ・ 当日、演奏でも参加予定か？部門は？

■ご注意事項

- ・ 申込内容を確認のうえ、ご連絡させていただきます。申込者全員にお願いするとは限りません。ご了承ください。
- ・ 今回の募集は関東アコーディオン演奏交流会のお手伝いがはじめての方へのお声がけとなります。2回目以降の方には別途お声かけさせていただきます。

■応募フォーム

<https://forms.gle/vLWwR6PgVYLhWGBT9>



仕事の一例



会場設営（大ホール）



受付



計時係（大ホール）



司会（大ホール）



会場設営（小ホール）



椅子出し係



計時係（小ホール）



司会（小ホール）

JAPC アコーディオン夏祭り 2025

2025 年 7 月 5 日(土) 開演 13:00 日暮里サニーホール コンサートサロン

夏祭りにふさわしく毎回元気の良いアコーディオン奏者の演奏を聴くことができると、練習されている所属先もいろいろあり、今年も楽しみに出かけてみました。出場者の中で写真掲載について確認の話が出来なかつ方は、文字のみの紹介となりました。〈 〉内は司会による解説の一部を紹介。

司会・進行（島田彩乃/谷口楽器所属）

本日は全国各地より多くのアコーディオン愛好家の皆様にお集まりいただきましたこと心より感謝申し上げます。年齢、性別、演奏ジャンルも多岐にわたり正に夏祭りの名ににふさわしいバラエティ豊かなプログラムとなっております。今回は初出場の方も多く華やかなアンサンブルも多数登場致しますのでどうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

開会あいさつ（JAPC 代表 小川正浩）



2011 年夏に新たに新 JAPC を立ち上げてから 15 年、途中コロナ禍で 2 回中断した年もありましたが、おかげさまでここまで皆様からのご理解とご協力をいただきながら続けており、13 回目のイベントを開催する運びとなりました。

今日も晴れていますがいつも晴天。それもまた恵まれているのかなあとと思っています。今日は 27 組、過去最大の出場者です。集った半分が初めて参加というフレッシュな形での夏祭りを最後までお楽しみいただきたいと思います。

最後に、この会はみなさんの協力という形で開催しておりますが、募金へのご支援もよろしくお願いたします。＝挨拶の挨拶＝（拍手）

1 番、山田太祥(フリー) 曲は「When I'm Sixty Foyr」



〈光陰矢のごとし少年老いやすく学なりがたし、気が付けば 64 歳になってしまいました。そんな 64 歳が When I'm Sixty Foyr を演奏します。期間限定の演奏となります。お聴き逃しのないように。〉

重音あり、ベースソロあり、スキップするようなメロディーをくり返す楽しい曲です。

2 番、浅川共子(ウインドバスカーズ埼玉アコグループ) 曲は、グリークの抒情小曲集から「農夫の歌」



〈初めて参加します。アコーディオンには素敵な曲ですがなかなか弾き切れないでいます。景色が描けるように演奏したいと思います。〉

フリーベースで演奏。左のベース音が美しい曲です。フランソワ・ミレーの描かれた「晩鐘」の絵が浮かんできました。

3 番、館山まゆみ(都丸智栄アコーディオン教室) 曲は「キャラメルと少女」



〈夢の中で何度もくり返し鳴っていたフレーズをふくらませて作ったオリジナル曲です。〉

思春期の女の子が持つほろ苦い甘い気持ちのタイトルを付けました。教室の発表会や友人との演奏などを通して少しずつ練習してきた大切なこの曲を楽しんで聴いていただけたら嬉しいです。〉

曲を作る楽しみを持っている方はうらやましいなと思います。タイトルのイメージとは違ったけれど、子どもたちが鬼ごっこやかくれんぼして遊んでいる様子を思い浮かべて聴いていました。

4 番、Jucgiocy (本田千香: 音楽センター大田教室/須藤範子: 音楽センター柴崎教室) 曲は「Mon manège a moi dans La Vie en Rose」



〈今回、回転木馬とバラ色の人生の 2 曲合わせてくるくる回るバラ色の人生という 1 曲にまとめました。〉

正にアコーディオンに出合ってから、私たちのぐるぐる回るようなたくさんの出会い、忙しさ、楽しさ、ステップアップしていく喜びを度重なる転調で表現しました。〉

本田さんは青色のボタンアコ、須藤さんは赤色

のボタンアコ、共に立奏です。バラ色の人生で始まり、回転木馬で2回3回と転調のくり返しそして再びバラ色の人生に戻る構成でした。二人の息の合った素敵な演奏でした。

5番、赤木 理（フリー）曲は「僕の左手、君の右手」〈JAPC 初参加です。強制的にアコを持たされて25年、仕事をしながらとは言えソロの演奏が日常になろうとは思いませんでした。今日はアコにはまるきっかけの曲の1つ都丸智栄さん作曲の「僕の左手、君の右手」を演奏します。〉



迫力ある前奏です。左ベースは長押しに、右手は細かくメロディーを刻みます。ベローシェイクがあったり楽しい曲です。力強い演奏が会場いっぱいに広がっていました。

6番、皆川松江（サポアコーディオン教室）曲は、Concert Etude No. 2

〈今回初めて参加させていただきます。夏祭りと言うことで華やかな曲を選んでみました。お聴き苦しいところがあるかと思いますが頑張って弾かせていただきます〉

右手がよく開きます。音がしっかり取れていてはずんだ音が素敵です。

7番、柴田潔（フリー）曲は「Spain」



〈今年の夏祭りは（チック・コリア）のスペインを弾くことに決めました。この一ヶ月間スペインをどんなリズムで弾こうかと悩み続けました。〉

アンプにつないだベース音が印象に残っています。

8番、竹田バンド（フリー）曲は「あと3日」
〈アコーディオン、ハーモニカ、タンバリンで作ったバンドです。



2025年5月結成。現在、埼玉県戸田市、蕨市のイベントを中心に活動しています。〉

“あと3日”と書かれたプラカードを掲げて登場、“パフッ”とラッパの音で始まります。アコーデ

ィオンの竹田秀一さんは、現在トンボ楽器株式会社埼玉工場勤務ですが、以前日暮里のショールームに勤務していました。当時を知る筆者は今回竹田さんのイメージがガラッと変わりました。ラップ調で元気いっぱい歌い楽しい演奏です。

9番、門脇美穂（Shuuiti パティオはなおか）曲は「Lrt's dance the polka」



〈JAPC 夏祭りはこれまで観客として参加してきました。演奏での参加は今年初チャレンジです。とても緊張しますが、今日はお祭りと言うことでみなさんと共に楽しむことを一番に心がけていきたいと思います。〉

暗譜で丁寧な演奏です。綺麗なメロディーのこの曲は筆者もかつて練習しました。はずんだ感じやスラーで動く指の運びに苦労した記憶がよみがえってきました。

暗譜で丁寧な演奏です。綺麗なメロディーのこの曲は筆者もかつて練習しました。はずんだ感じやスラーで動く指の運びに苦労した記憶がよみがえってきました。

10番、宮本健太郎（行くよ！サラサラ小川教室）曲は「ルパン三世のテーマ」



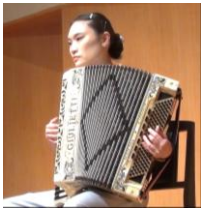
〈去年に続き2回目の参加です。前回と同じくらい楽しく、前回よりも上手な演奏をしたいです。リズムに乗ってルパン三世の曲の良さを表現できるよう頑張ります。〉

視覚障害を持つ方だけれどリズム良く軽快な演奏でした。9月開催の関東アコ（初心者部A）にエントリーされたので楽しみが増えました。

11番、片岡草志（フリー）曲は「ダニーボーイ」
〈音楽を初めて以来ずっと好きな曲です。この曲は長調だけどどこかほの暗さがあって優しい雰囲気。フリーベースにあっていると思います。大切な人の帰りを待ちわびる気持ちやアイルランドの情景を反映した演奏になっていればいいなと思います。〉

途中はジャズふう、どなたの編曲でしょうか、初めて聴きました。落ち着いた演奏でベースも綺麗です。

12番、宝田芙由子（イケベアコーディオン教室）曲は「Acquarelli Cubani」



〈4 年前にアコーディオンを見つけて出会いに恵まれる日々を過ごしてまいりました。教室、演奏会、ジャムセッション、コンクール、アコーディオンを始めて良かった。ところで、独奏やセッションを重ねるうちに名曲を名曲たらしめる仕組みを学んでパワーアップしたいなと思いました。そこで取り組んだのが夭折の天才作曲家ルチアーノ・ファンチェッリが作ったこの曲、日本語でのタイトルは「キューバの水彩画」。ルンバ風のリズムが楽しくて日々の練習に張り合いが出ます。将来は楽器を持って海外へ飛び出しいろいろな人と演奏をしてみたいなと夢がふくらんでいます。〉

金色の華やかな楽器、暗譜で力強い演奏です。重音も綺麗に響いていました。踊り出したくなる明るく楽しい曲です。

13 番、村上一郎（東京アコーディオン研究会）
曲は「夜霧よ今夜も有難う」



〈石原裕次郎さんが歌った昭和の歌謡曲です。昭和の歌謡曲ってジャズを感じますよね。〉

ボタンアコーディオンでショパンの子犬のワルツなど弾いて

いた村上一郎さんですが、歳と共に鼻歌でも歌いながら聞いていた往年の歌謡曲が懐かしく思われるのだろうか、筆者も昭和 30 年代の歌謡曲を練習してみようかなと思う時があります。

14 番、Coucou! Accord é on（イケベアコーディオン教室：武藤育実、狩俣真理、大木和香奈、千葉薫）曲は「巴里祭」



〈グループ名の Coucou! “くく”とはフランス語で“やあ!”という意味です。気軽に集ってアコーディオンを演奏したり聴いたり出来るようにこの名前にしました。くく！アコーディオンとして 2 回目の発表は通称「巴里祭」と呼ばれる映画音楽のこの曲です。前回に引き続きスペシャルアンバサダーの金田齊さんが採譜してくれました。幾重にも重なった濃い和音がとてもカッコ良いアレンジになっています。しかし、和音の並びが難しくメロディーを聴いて合

わせるのが大変でした。素敵なパリの街並みをイメージしながら聞いてください。〉

アコーディオン四重奏です。独奏の際に一人オーケストラといわれるけれど、アンサンブルを楽しむことでさらにアコーディオンの世界が、また良さが広がると思います。素敵な演奏でした。

・・・15 分休憩・・・休憩中、本日 17：30 開演の Accordion Lovers Night vol.2 お誘いの紹介がありました。

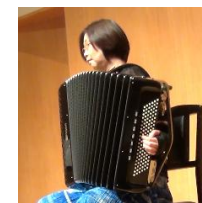
【第 2 部】15 番、パパガイオス：丸尾知子/アコーディオン 矢田伊織/ベースギター（大阪吉田親家教室）曲は「ADIOS NONINO」



〈京都から神奈川に越してから今回で JAPC 夏祭り 2 回目となります。夏祭りで演奏できるのを楽しみに夫婦で時間を捻出しながら少しずつ練習してきました。今回はピアソラの五重奏曲をベースとアコーディオンのデュオにぎゅっとまとめて編曲しました。〉

6 月に大阪で開催されたふれあいこんさあと「ビバ・アコーディオン」でも聴きました。何度聞いてもきれいな音だなあとと思います。アコーディオンの丸尾知子さんの編曲です。とても丁寧な演奏の中に力強く緊張した音の流れが素敵です。

16 番、星野一美（大田教室）曲は「イル・ポステイノ」



〈いつも客席でみなさんの演奏を聴かせていただいていたが今回初めて参加します。演奏曲の舞台はイタリア、ナポリの小さな島での郵便配達員の青年と高名な詩人の交流を美しい海を背景に描いています。参加を決めてから本番まで 1 ヶ月しかなかったでちゃんと弾けるか心配ですがどうか温かく見守ってください。〉

夢を見ているような綺麗なメロディーです。

17 番、森美千子（クラシックアコーディオンラボ）曲は「Mirabelle」

〈この曲は友人から借りた CD に入っていた曲で、ずっと前から弾いてみたいと思っていまし

た。2 年ぐらい前にやっと楽譜が手に入りちょっとずつ練習してきました。先生に少しアレンジを加えてもらったのですが、そのせいで難易度が上がって上手く弾けず苦労しました。上手に弾けたときは達成感がとてもあるので何度も難しい部分を練習しました。〉

3 拍子の初めて聴く曲です。テヌート気味のベースに乗せてくるくる回っているようです。

18 番、伊藤悠（パティオはなおか）曲は「演歌メドレー（おら東京さ行くだ、天城越え、他）」



〈今年も演歌を練習してきました。乗りの良い曲からしっとりした曲まで是非みなさんと楽しみながら演奏したいと思います。〉

演歌が大好きなようです。立奏で農作業風のモンペ姿もお似合いです。おら東京さ行くだで始まり、天城越え、ズンドコ節、川の流れのようにをメドレーで演奏。

19 番、満武直人（ヴォードヴィルアコーディオン教室）曲は「チロルのアコーディオン」



〈チロルとは、オーストリアとイタリアにまたがるアルプス山脈東部の地名で氷河、森林、牧草地から成る自然景観で知られております。この曲は、戦前松原千

加士によって、この地方の民族音楽をベースに編曲されたものですが、これを私の先生がさらに日本のアニメから一部の旋律を借りて更なる編曲を加えたものです。チロル地方のアルプスの雰囲気が出せればと思っています。〉

帽子もよく似合う登山者風の服装で立奏です。高音の綺麗な素敵な編曲です。

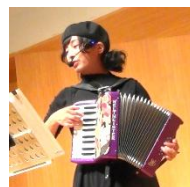
20 番、青木希羅（イケバアコーディオン教室千葉クラス）曲は「Si Versailles m''était conté」

〈教室に通って3 年になりました。今回で2 回目の出場です。このように発表の場を提供していただくと目標が出来て練習しやすくなるのでとてもありがたいです。今年は同じ教室の方に紹介してもらった曲にしました。速い曲が多く苦労していますが、今日はメリハリよく丁寧な演奏を心

がけます。〉

初めて聴く曲です。愛犬と一緒にさんぼしているようなかわいい感じの曲です。暗譜で演奏しました。

21 番、サジ ヒロミ（フリー）曲は「シャンソンメドレー」



〈シャンソンと言えば宝塚出身の歌手越路吹雪さん。今年は越路吹雪さん生誕 100 年の年に当たります。ご存命であれば今年 100 歳の越路吹雪さんの曲の力強くて粋でおしゃれなことに驚くばかりです。

私はシャンソンをよく知らなかったのですが演奏の機会があり練習しました。高齢者訪問での演奏で越路吹雪さんのシャンソンを演奏するとみなさんに喜んで頂けるので私にとっても重要な曲と言えます。〉

「ろくでなし」で始まり、サン・トワ・マミー、ラスト・ダンスは私に、愛の讃歌、オー・シャンゼリゼをメドレーで演奏しながら歌います。

筆者は今年サジヒロミさんの出演するお店を取材させて頂き、ニュースで紹介しているけれど、弾き語りの発表の場をお持ちで、お客さんの前での演奏や歌、またその両方と使い分けて日々研鑽を積んでおられるのでその成果を楽しみにしています。

22 番、小原 主（中部アコーディオンクラブ）曲は「ロンドンデリーの歌」



〈独奏では 2 回目の参加です。いつも楽しみにしています。今回演奏する曲は情感たっぷりの曲です。一音一音丁寧に演奏できるよう心がけたいと思います。〉

シャンソンの後に聴くと何かホットします。途中のスイッチ（M1 本）の演奏も素敵です。司会のコメントにあったように演奏者の曲への想いが伝わってきます。

23 番、岡 寿美枝（松原智美教室、藤野由香クラス）曲は「天使の死」

〈アコーディオンを始めて6 年ぐらいになります。ここ2 年ほどはピアソラにハマっていて、「天使の死」を弾いてみたいと思いアコーディオンの

楽譜を探しましたが見つからず、ピアノの楽譜がいくつかあったのでそれで弾いてみようと思いました。しかしピアノの楽譜はアコーディオンで



弾くには難しくて弾けませんでした。そこで、源典をアコーディオン用に自分でアレンジし直すという大作業になってしまい、自分の力量など考えずに表現したい

音を入れ込んだために難しいものになってしまいました。自分で書いたのだからチャレンジです。)

右手が飛ぶけれど力強く、細かい刻みもきれいな音でしっかりした素敵な演奏でした。

24 番、石井美緒 (平山尚アコーディオン教室) 曲は「CARNIVAL OF VENICE」



〈アコーディオンは平山尚氏に師事、明確なリズムとリードの響きを大切にきれいに表現する奏法を学んでいます。ピエトロ・フロッシーニ編曲のベニスの謝肉祭を私なりに楽しく演奏できたらいいなと思います。思いを込めて演奏します。〉

暗譜で立奏です。力強くはっきりした前奏が素敵です。3 拍子のリズムに合わせて膝を小さく曲げ、身体を優雅にちょっと右へ左へと揺らしながら楽しそうに演奏していました。絵画で見るような舞踏会の様子が浮かんできます。

25 番、岡井信子 (カフェラインミュージックスクール) 曲は「水脈」〈岩城先生に出会ってアコーディオンの音に魅了され、アコーディオン教室に通いはじめました。それから早 7 年未だに蛇腹の扱いに苦労しています。大好きな先生が作った曲は全部好きですがその中から今日は水脈という曲を弾きます。大きな舞台で練習通り弾くのは難しいですが頑張ります。〉

岩城先生とは、アコーディオニストの岩城里江子さんのことだと思いますが、未知の世界へ迷い込み辺りを見回しているような不思議な曲で、初めて聴きました。暗譜で演奏していました。

26 番、千田康司 (音楽センター柴崎教室) 曲は「アナンタンゴ」

〈今年 2 月に左手を骨折し小指が少し曲がってしまい苦労しています。(現在は完治したとのこ

とです)〉



した。

27 番、森本学 (中部アコーディオンクラブ) 曲は「いとなみ寓話」



写真で分かるだろうか、カラーテープで楽器を彩色しています。テンポの速い曲だけれどしっかりしたリズムで力強い演奏です。今年も石巻から参加しました。

〈今日は coba さんの名曲にチャレンジします。叱られないように頑張ります。〉

coba さんのオリジナル曲との紹介でしたが、初めて聴きました。森本さんの音もきれいです。会場いっぱいに響いていました。

閉会のあいさつ (JAPC 副会長 真野照久)



いかがだったでしょうか、バラエティ豊かな素晴らしい演奏で、またレベルも高くて私自身も本当に刺激を受けました。アコーディオン関係の方も多いと思いますので、みんなでアコーディオン界を盛り上げていければと思っています。この後、東京文化会館で coba さん主催の Accordion Lovers Night vol.2 というのが行われるんですが、こっちの方がおもしろかったんじゃないかなと思いますが(笑)

是非この先もアコーディオンを盛り上げていただければと思います。本日は長時間ありがとうございました。(拍手)

この後出場者は記念に集合写真を撮られていました。

例年だと、演奏者への一言インタビュー、又、終了後に懇親会が催されますが、閉会の挨拶で述べられたように東京文化会館にて 17:30 から coba さん主催の行事が控えていて、本日出場された方の中に聴きに行く方が大勢いることから懇親会はありませんでした。

皆さん、想いのこもった素敵な演奏ありがとうございました。

※写真は編集部と主催からの提供。(記:乙津)

第43回 みんなでつくった平和公園 みんなでつくろうコンサート 2025

今年も出場！ 2025年7月13日（日）開演 17:00 中原平和公園 野外音楽堂

今年も、神奈川合同（横浜アコーディオン愛好会・鶴見アコーディオンクラブ・音楽センター南部教室の有志&OBで構成）15名で地元のコンサートに参加しました。演奏曲は、「反核メロデー（広島から～原爆をゆるすまじ）」と「アンパンマンのマーチ」の2曲です。他に、横浜アコーディオン愛好会のメンバーの一人は、「ちゅらリンク（沖縄民謡&ポップス）」にも出場しました。

普段は、それぞれのサークル、教室で練習して5月に1回、6月に1回、日曜日に集って合同練習しました。当日は14:00から舞台リハーサル、その後近くで借りることの出来た練習場所へ移動し1時間半ほど練習して本番に臨みました。「アンパンマンのマーチ」ではメンバーの発案で写真のようにお面やマントを着けて元気いっぱいの演奏でお客さんと一緒に楽しみました。

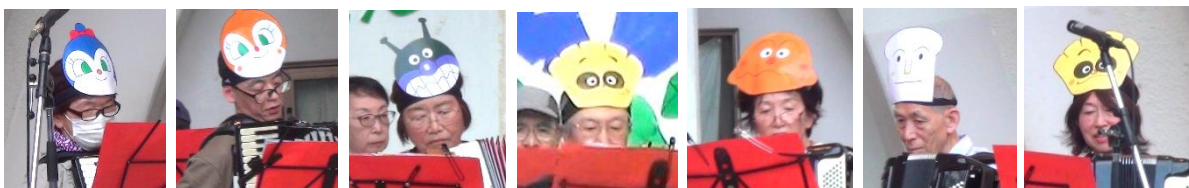
※トランペットのファンファーレに始まり、他にコーラス、太鼓など13団体が出演。最後は「アピール（案）」を読み上げて終了しました。



ちゅらリンクの演奏 平和の琉歌、他



指揮もマントを着けて



「アンパンマン」に登場するキャラクターのお面を付けて演奏 指揮:森陽介